

國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 一 号

昭 和 三 十 八 年 四 月 十 三 日 發 行

論 說

國際法上の主体についての理論

大阪大学教授 大淵 仁右衛門

現代の中国と太平洋問題

法 学 士 曾 村 保 信

資 料

わが国の裁判所における國際法適用の諸先例(五)

東北大学教授 小祖 川 武 滋夫

紹 介

La Vie Internationale et le Droit, Recueil d'Études en l'Honneur
de Hidebumi Egawa, 1961. (日 語) Elizabeth Thornycroft ;
Personal Responsibility and the Law of Nations, 1961. (小寺初世子)

ドキュメント

ラオス中立宣言および議定書 (一九六二年)

國際法外交雜誌

第 二 十 六 卷 第 二 号

昭和三十三年六月三十日發行

論 說

「ニュー・ルック」をめぐる諸問題

大阪市立大学教授 神谷不二

最近における国際法学の動向について

日本大学講師 深津榮一

資 料

わが国の裁判所における国際法適用の諸先例(六)

東北大学教授 小祖川武滋

紹 介

Shabtai Rosenne, The Time Factor in the Jurisdiction of the International

Court of Justice, 1960. (筒井 若水) 横田喜三郎著「外交關係の国際法」

(宮崎 繁樹)

会 報

昭和三十八年度国際法学会春季大会

國際法外交雜誌

第 三 號 第 二 十 六 卷

昭和三十三年八月三十日發行

論 說

スコラ哲学における法と國家
——國際主義形成史上におけるその地位——

広島大学教授 堀川 武夫

集團的自衛の法理 (二)

熊本大学助教授 森 脇 庸太

資 料

わが國の裁判所における國際法適用の諸先例(七)

東北大学教授 小祖 川 武 滋夫

紹 介

田中時彦著「明治維新の政局と鉄道建設」(衛藤藩吉)

國際法外交雜誌

第六十二卷 第四号

昭和三十三年十月三十日發行

論 說

國際私法条約の解釈

神戸大学教授 川上太郎

三カイリ主義と射程距離説

近畿大学助教授 高林秀雄

資 料

わが国の裁判所における國際法適用の諸先例(八)

東北大学教授 小祖川武滋夫

紹 介

Boleslaw Adam Boczek, *Flags of Convenience—An International Legal*

Study, 1962. (嘉納 孔) 高野雄一著「日本の領土」(小和田 恒)

学 界 消 息

最近のスペイン國際法学界(西俣 昭雄)